

## 平成 26 年度 第1回公益事業振興補助事業審査・評価委員会 議事要旨

1. 開催日時:平成 26 年 5 月 30 日(金) 午後2時00分～午後3時45分
2. 開催場所:公益財団法人 JKA 4A・B 会議室
3. 出席者  
小松隆二委員長、栃本一三郎委員長代理、大江守之委員、川戸恵子委員、  
早野透委員、宮嶋泰子委員、村林裕委員、山谷清志委員  
(事務局) 笹部執行理事、松川部長、宮本課長、西上課長補佐
4. 議題
  - (1)平成 24 年度 JKA 補助事業の評価について
  - (2)平成 27 年度補助事業の考え方について
  - (3)その他
5. 補助事業者プレゼンテーション  
社会福祉法人 全国心身障害児福祉財団
6. 審議結果
  - ・議題(1) 平成 24 年度JKA補助事業評価については、評価作業部会の報告の通り了承された。
  - ・議題(2) 平成27年度補助事業の考え方について了承された。JKA事務局で平成27年度補助方針(案)を作成し、6月に行われる評価作業部会、7月に行われる補助事業審査・評価委員会で審議する。
7. 意見概要  
議題(1)平成 24 年度補助事業の評価について(資料1関連)
  - ①自己評価書の提出は補助事業者の義務である。未提出の補助事業者からの次年度以降の補助要望は却下について検討すべきである。
  - ②補助事業者が自己評価を行うことにより、PDCAサイクルが回り、次年度以降の事業実施の改善につながっていくことをJKAが補助事業者にしっかり説明していくことが必要。
  - ③JKA評価は補助事業者に提示しないとのことだが、JKA評価を補助事業者に示すことにより、当該事業者自らが次年度以降の事業について改善を図ることにつながるのではないかと。

議題(2)平成27年度補助事業の考え方について(資料2関連)

- ①「新世紀未来創造プロジェクト」に対する応募が少ないので、教育委員会等いろいろなところへ働きかけて応募者を増やす工夫が必要。
- ②地域包括ケアで補助の対象とする事業は介護保険関係以外の部分に限定すべき。
- ③障害者、高齢者及び児童を跨ぐ事業については重要であるが、表現については見直したほうが良い。
- ④児童、高齢者、障害者の複合領域における地域社会支援ということでスポーツをツールとして行って実際に行っているNPOなどがある。

\*本議事要旨は、(公財)JKA事務局が作成